

8R46 / 8R48

JSY8R4C1-A2303

SEIKO WATCH CORPORATION
Copyright©2021 by SEIKO WATCH CORPORATION

Printed in Japan

M-22

SEIKO

8R46 / 8R48

機械式クロノグラフ 取扱説明書
MECHANICAL CHRONOGRAPH INSTRUCTIONS

日本語 JA | 1

English EN | 1

そのほかの言語の取扱説明書は、パソコンや
スマートフォンから当社ホームページ内の
「カスタマーサービス」>「取扱説明書」
にアクセスいただき、ご覧ください。

Please refer to the Instruction Manuals
of other languages by accessing
"Customer Service" → "Instruction"
on our Website from PC or Smartphone.

Deutsch / Français / Italiano / Español /

Русский язык / العربية / Português /

简体中文 / 繁體中文 / 한국어 / ไทย



<https://www.seikowatches.com/>

この度は弊社製品をお買い上げいただき、
誠にありがとうございました。
ご使用の前にこの説明書をよくお読みの上、
正しくご愛用くださいますよう、お願い申し上げます。

なお、この説明書はお手元に保管し、必要に応じてご覧ください。

※金属バンドの調整は、お買い上げ店にご依頼ください。
ご贈答、ご転居などにより、お買い上げ店での調整が受けられない場合は、
弊社お客様相談室へご依頼ください。お買い上げ店以外では有料もしくは
お取扱いいただけない場合があります。

※商品に傷防止用の保護シールがはられている場合があります。
必ずはがしてお使いください。はられたままにしておくと、汚れ、汗、ゴミ、
水分などが付着してさび発生の原因となります。

JA 1

目次

1 操作について

製品取扱いのご注意	3
メカニカルウォッチの特徴(手巻、自動巻)	7
各部の名称と主なはたらき	8
りゅうずについて	9
ねじロック式ボタンについて	10
ぜんまいの巻きかた	11
2 時刻・日付の合わせかた	
時刻・日付の合わせかた	13
月末の日付修正について	16
3 クロノグラフの使いかた	
クロノグラフについて	17
ストップウォッチの使いかた	18
ストップウォッチ分針の読みかた	20
タキメーター(TACHYMETRE)の使いかた	21

4 ご注意いただきたいこと

お手入れについて	23
性能と型式について	24
ルミブライトについて	25
防水性能について	26
耐磁性能について(磁気の影響)	27
バンドについて	29
皮革バンド用三つ折れ式中留(なかどめ)の使いかた	32
スマートアジャスター機構つき中留(なかどめ)の使いかた	38
アフターサービスについて	41
メカニカルウォッチの精度について	43
こんなときには	45
製品仕様	47

製品取扱いのご注意

△ 警告

取り扱いを誤った場合に、重症を負うなどの重大な結果になる危険性が想定される内容を示します。

次のような場合、ご使用を中止してください。

- 時計本体やバンドが腐食などにより鋭利になった場合
- バンドのピンが飛び出してきた場合

※すぐに、お買い上げ店・弊社お客様相談室にご連絡ください。

乳幼児の手の届くところに、時計本体や部品を置かないでください。

部品を乳幼児が飲み込んでしまうおそれがあります。
万が一飲み込んだ場合は、身体に害があるため、ただちに医師にご相談ください。

1

操作
ひじ
いて

△ 注意

取り扱いを誤った場合に、軽症を負う危険性や物質的損害をこうむることが想定される内容を示します。

以下の場所での携帯・保管は避けてください。

- 撃発性の薬品が発散しているところ(除光液などの化粧品、防虫剤、シンナーなど)
- 5°C~35°Cを外れる温度に長期間なるところ ○ 高湿度なところ
- 磁気や静電気の影響があるところ ○ ホコリの多いところ
- 強い振動のあるところ

アレルギーやかぶれを起こした場合

ただちに時計の使用をやめ、皮膚科など専門医にご相談ください。

その他のご注意

- 金属バンドの調整は専門知識・技能が必要ですので、お買い上げ店にご依頼ください。
手や指などにけがをする可能性があるほか、部品を紛失する可能性があります。
- 商品の分解・改造はしないでください。
- 乳幼児に時計が触れないようにご注意ください。
けがやアレルギーをひき起こすおそれがあります。
- 提げ時計やペンダント時計の場合、ひもやチェーンの取り扱いにご注意ください。
衣類や手・首などを傷つけたり、首を締めたりするおそれがあります。

△ 警告

この時計はスクーバダイビングや飽和潜水には絶対に使用しないでください。
スクーバダイビングや飽和潜水用の時計に必要とされる過酷な環境を想定した様々な厳しい検査を行っていません。専用のダイバーズウォッチをご使用ください。



△ 注意



直接蛇口から水をかけることは避けてください。
水道水は非常に水圧が高く、日常生活用強化防水の時計でも防水不良になるおそれがあります。

△ 注意

取り扱いを誤った場合に、軽症を負う危険性や物質的損害をこうむることが想定される内容を示します。



水分のついたまま、りゅうずやボタンを操作しないでください。
時計内部に水分が入ることがあります。
※万が一、ガラス内面にくもりや水滴が発生し、長時間消えない場合は防水不良です。
お早めに、お買い上げ店・弊社お客様相談室にご相談ください。



水や汗、汚れが付着したままにしておくのは避けてください。
防水時計でもガラスの接着面・パッキンの劣化やステンレスがさびることにより、
防水不良になるおそれがあります。



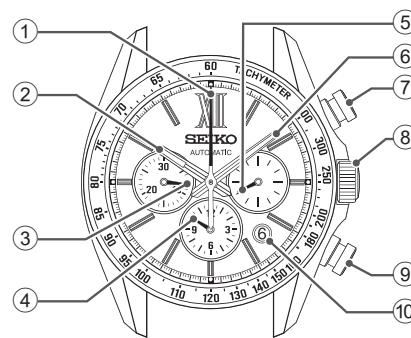
入浴やサウナの際はご使用を避けてください。
蒸気や石けん、温泉の成分などが防水性能の劣化を早めることができます。

メカニカルウォッチの特徴(手巻、自動巻)

- この時計は「ぜんまい」を動力に使用した、メカニカルウォッチです。
- 止まった状態からご使用になるときは、りゅうずを 20 回手で巻いてぜんまいを巻き上げてから始動させてください。
- 精度はクオーツウォッチが月差・年差であるのに対し、メカニカルウォッチは日差(一日あたりの進み・遅れ)となります。
- さらに、ご使用になる条件(携帯時間、温度、腕の動き、巻き上げ量等)によって微妙に影響を受けますので、誤差は一定ではありません。
- 外部から強い磁気の影響を受けますと、精度がズレることがあります。影響の度合いによっては、部品が磁化してしまうことがあります。その場合は、磁気抜き等の修理が必要となりますので、お買い上げ店にご依頼ください。

各部の名称と主なはたらき

操作について



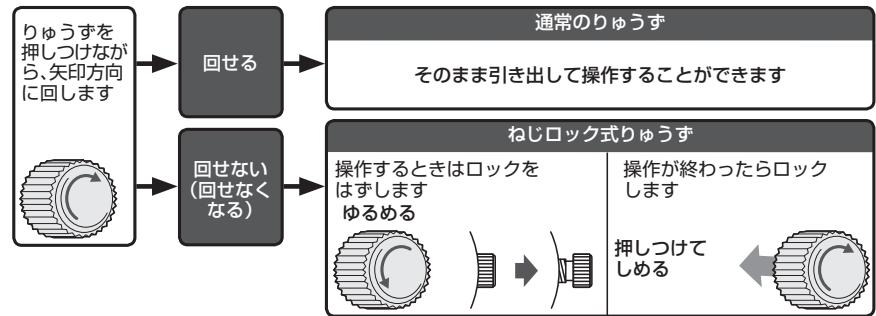
- | | |
|----------------------------------|--|
| ① センターストップ
ウォッチ針(秒) | ⑦ ボタンA
ストップウォッチ
スタート／ストップ |
| ② 時針 | ⑧ りゅうず
・0段目(ロックを
外した状態):
ぜんまい巻き上げ
(手巻)
・1段目:日付合わせ
・2段目:時刻合わせ |
| ③ ストップウォッチ
30分計針 | |
| ④ ストップウォッチ
12時間計針
(8R48のみ) | |
| ⑤ 小秒針 | ⑨ ボタンB
ストップウォッチ
リセット |
| ⑥ 分針 | ⑩ 日付 |

※表示の位置やデザインは、モデルによって異なる場合があります。

りゅうずについて

操作について

りゅうずには、通常のものとロックできる構造のものの、2つのタイプがあります。
お使いの時計のりゅうずをご確認ください。



※ねじロック式りゅうずは、ロックすることで、誤動作の防止と防水性の向上をはかることができます。

※ねじロック式りゅうずは、ねじを無理にしめるとねじ部をこわすおそれがありますので、ご注意ください。

ねじロック式ボタンについて

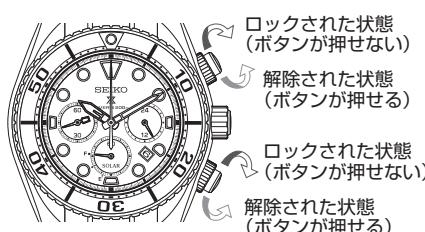
操作について

誤動作の防止のために、使わないときはボタンをねじでロックできる構造です。

- ボタンを操作するときはロックをはずしてください
- 操作が終わったらロックをしてください

【ロックのはずしかた】

- ボタン外周のリングを左回り(反時計回り)にボタンリングが止まるところまで回してください。
- ボタンを操作できるようになります。



【ロックのしかた】

- ボタン外周のリングを右回り(時計回り)に止まるところまで回してください。
- ボタンを操作できなくなります。

※汚れなどが付着すると、ねじ部・ボタンが正常に動作しないことがあります。「お手入れについて」→ P. 23

※必要以上に回すと、ねじロックボタンを元に戻しにくくなりますのでご注意ください。

※時計がぬれているとき、もしくは水中にあるときは、ボタンを操作しないでください。

ぜんまいの巻きかた

操作について

- この時計は、自動巻式機械時計(手巻つき)です。

- ぜんまいは時計を腕につけた状態では通常の腕の動きで自然に巻くことができます。また、りゅうずをまわしてぜんまいを巻くこともできます。

- 止まっている時計をお使いになるときは、時計を振っても動き出しますが、りゅうずをまわしそれが十分に巻かれた状態にしまして、日付と時刻を合わせてから腕におつけください。ぜんまいを巻く際には、りゅうず0段位置で右回転方向にゆっくりとまわしてください。なお、りゅうずは左方向では空回りするようになっています。また、ぜんまいはフル巻上げ状態でぜんまいがスリップするようになります。ぜんまいを切る心配はありません。

※ねじロック式りゅうずのモデルは、操作前にりゅうずのロックを外し、操作後必ずロックをしてください。

- ぜんまいが十分に巻き上げられた状態での可動時間は約45時間です。

※ただし、クロノグラフ機能を使用し続けると、45時間より短くなります。

※ぜんまいの巻き上げ量が不足しますと進み遅れの原因になりますので、1日10時間以上携帯することをおすすめします。また、時計を腕につかないでご使用される場合は、毎日一定の時刻にりゅうずをまわしぜんまいを十分に巻いてご使用ください。

※ぜんまいが解けて止まった状態からお使いの場合、りゅうずでぜんまいを巻き上げても直ぐには動きません。機械式時計の特徴でぜんまい巻き始めのぜんまいトルク(力)が弱いためです。ぜんまいが巻かれてある程度の強いトルクに達すると小秒針が動き始めますが、早めに動かすためには、時計を振りてんぶを強制的に回転させることで動かすことができます。

時刻・日付の合わせかた

この時計には、日付表示機能がついています。24時間に1回日付を一日分送るようになっています。日付は、「午前0時」ごろ送るようになっています。よって、午前午後をまちがえて時刻合わせをしてしまいますと、「お昼の12時」ごろに日付が変わってしまいます。

△注意

時刻表示が午後8時から午前2時までの間、日付の修正をしないでください。
この時間帯に日付を修正しますと、翌日になっても日付が切り変わらないことや、故障の原因となる場合があります。

1 りゅうずを1段目まで引き出す

※ねじロック式りゅうずのモデルは、操作前にりゅうずのロックを外してください。



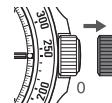
りゅうずを1段引く

2 りゅうずを回転させ、日付の修正をする

前の日の日付に合わせます。

(例)合わせる日付が「6日」の場合、「5日」に合わせます。

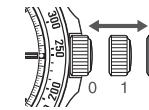
りゅうずを左回り(反時計回り)に回すことでの日付合わせが行えます。



3 りゅうずを2段目まで引き出し、時刻を合わせる

小秒針が「12時」の位置にきたときに引き出してください。(小秒針が止まります。)

りゅうずを回転させ、針が進む方向にまわし、日付が今日の日付になるまでまわしてください。日付が変わると「午前」です。さらに進めて現在の時刻に合わせます。



4 時報と同時にりゅうずを0段目まで押し込む

小秒針が動き始めます。

※時刻合わせは、電話の時報サービスTEL.117が便利です。

※ねじロック式りゅうずのモデルは、操作後必ずロックしてください。

■月末の日付修正について

2

時刻・日付の合わせかた

2月(1カ月が28日、うるう年は29日)と小の月(1カ月が30日)では日付の修正が必要になります。

【例】小の月の翌月1日の朝、日付を修正する場合

「1日」ではなく「31日」が表示されています。りゅうずを1段目に引き出してください。
りゅうずを左回転させ、日付を「1日」に合わせ、りゅうずを押し込んでください。
※ねじロック式りゅうずのモデルは、操作後必ずロックしてください。



△注意

- 時刻表示が午後8時から午前2時までの間、日付修正は避けてください。故障の原因になります。

JA 16

3

クロノグラフの使いかた

クロノグラフについて

最大30分(8R46)、または最大12時間(8R48)まで計測可能です。

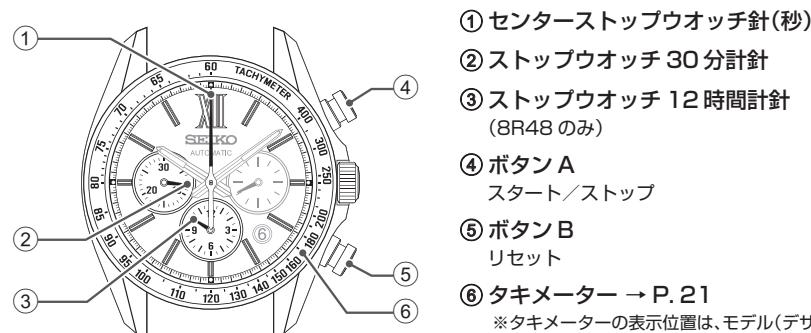
※クロノグラフとは、ストップウォッチ機能と時刻表示機能を合わせ持った機能のことです。

※ストップウォッチ作動時には、りゅうずを引き出して、時刻・日付合わせをしないでください。

※使い始めには、センターストップウォッチ針が0位置に合っているか確認してください。

合っていないときは、ボタンBを押してリセットしてください。

※ストップウォッチ機能の使い始めには、ぜんまいの巻き上げが充分であることを確認してください。



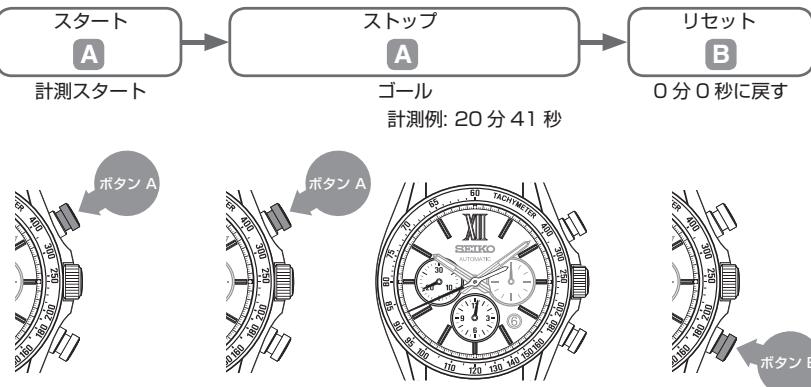
JA 17

ストップウォッチの使いかた

•通常の計測 例:5000メートル走

3

クロノグラフの使いかた

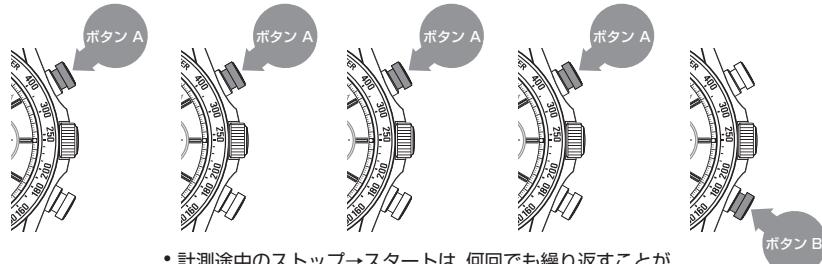


•積算で計測を行う場合 例:サッカーの試合時間計測



3

クロノグラフの使いかた



•計測途中のストップ→スタートは、何回でも繰り返すことができます。

JA 18

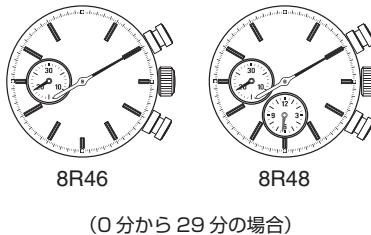
JA 19

■ ストップウォッチ分針の読みかた

最大 12 時間まで計測可能な 8R48 では、ストップウォッチ分針が 30 分ごとに 1 周します。ストップウォッチ時針の位置によって読みかたが変わりますので、ご注意ください。

3

クロノグラフの使いかた



(0 分から 29 分の場合)



(30 分から 59 分の場合)

- 8R46 の場合
ストップウォッチ分針目盛り値をそのまま読み、20 分 10 秒経過と読みます。

- 8R48 の場合
ストップウォッチ時針が短い目盛り(0.5 時間目盛り)の手前の位置にあるため、ストップウォッチ分針目盛り値をそのまま読み、6 時間 20 分 10 秒経過と読みます。

JA 20

- 1 時間あたりの出来高

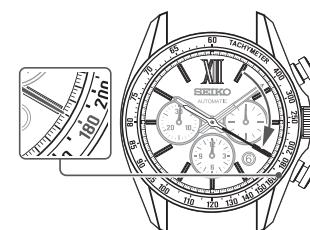
1 製品 1 個が出来上がるのに要した時間を計測する(1 分以内)

2 センターストップウォッチ針(秒)が指しているタキメーターの数字を読み取る

例：製品 1 個が出来上がるのに 20 秒かかった場合…180 個/h

3

クロノグラフの使いかた



JA 22

タキメーター(TACHYMETRE)の使いかた

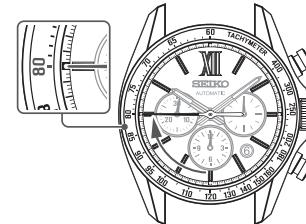
タキメーター(TACHYMETRE)の数字を読み取ることで、時速や単位時間あたりの出来高などが簡単に分かります。

・時速の計測

1 1km 走るのに要した時間を計測する(1 分以内)

2 センターストップウォッチ針(秒)が指しているタキメーターの数字を読み取る

例：1km 走るのに 45 秒かかった場合…
80km/h



3

クロノグラフの使いかた

JA 21

お手入れについて

● 日ごろからこまめにお手入れしてください

- りゅうずを引き出して洗わないでください。
- 水分や汗、汚れはこまめに柔らかい布でふき取るように心がけてください。
- 海水につけた後は、必ず真水でよく洗ってからふき取ってください。
その際、直接蛇口から水をかけることは避け、容器に水をためるなどしてから洗ってください。
※「防水」、「日常生活用防水」の場合は、おやめください。
- 「性能と型式について」→ P. 24
「防水性能について」→ P. 26

4

ご注意いただきたいこと

● りゅうずは時々回してください

- りゅうずのさびつきを防止するために、時々りゅうずを回してください。
- ねじロック式りゅうずの場合も同様です。
「りゅうずについて」→ P. 9

● ボタンは時々押してください

- ボタンのさびつきを防止するため、時々ボタンを押してください。

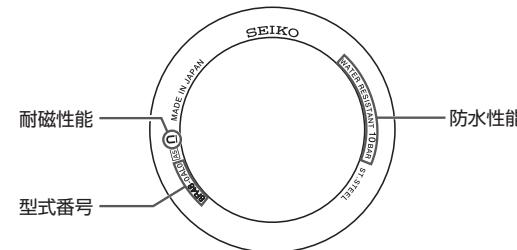
JA 23

性能と型式について

時計の裏ぶたで性能と型式の確認ができます。

4

ご注意いただきたいこと



・防水性能

P. 26 を参照ください。

・型式番号

お客様の時計の種類を示す番号です。

※上の図は例であり、お買い上げいただいた時計とは異なる場合があります。

JA 24

4

ご注意いただきたいこと

ルミブライトについて

お買い上げの時計がルミブライトつきの場合

ルミブライトは、太陽光や照明の明かりを短時間(約 10 分間:500 ルクス以上)で吸収して蓄え、暗い中で長時間(約 3 時間~5 時間)発光します。光が当たらなくなつてから輝度(明るさ)は、時間の経過とともに弱まります。なお、光を蓄える際の光の強さや光の吸収度合いとルミブライトの面積によって、発光する時間や見え方に差が生じます。

※一般的には明るい所から暗い所へ入った場合、人の目はすぐに順応しません。初めはものが見にくいけれど、時間の経過と共に見やすくなつてきます。(目の暗順応)

※ルミブライトは、放射能などの有害物質をまったく含んでいない環境・人に安全な蓄光(蓄えた光を放出する)塗料です。

<照度のめやすについて>

環境		明るさ(照度)のめやす
太陽光	晴れ	100,000 ルクス
	くもり	10,000 ルクス
屋内(昼間窓際)	晴れ	3,000 ルクス以上
	くもり	1,000~3,000 ルクス
	雨	1,000 ルクス以下
照明(白色蛍光灯 40W の下で)	1m	1,000 ルクス
	3m	500 ルクス(通常室内レベル)
	4m	250 ルクス

JA 25

防水性能について

お買い上げいただいた時計の防水性能を下記の表でご確認の上ご使用ください。
(P. 24 をご覧ください)

4

ご注意いただきたいこと

裏ぶた表示	防水性能	お取扱方法
防水性能表示なし	非防水です。	水滴がかかったり、汗を多くかく場合には、使用しないでください。
WATER RESISTANT	日常生活用防水です。	日常生活での「水がかかる」程度の環境であれば使用できます。 △警告 水泳には使用しないでください。
WATER RESISTANT 5 BAR	日常生活用強化防水で 5 気圧防水です。	水泳などのスポーツに使用できます。
WATER RESISTANT 10(20)BAR	日常生活用強化防水で 10(20)気圧防水です。	空気ボンベを使用しないスキニダイビングに使用できます。

JA 26

4

ご注意いただきたいこと

耐磁性能について(磁気の影響)

この時計は、身近にある磁気の影響を受け、時刻が狂ったり止まつたりします。

△ 危険	
裏ぶた表示	お取扱方法
耐磁性能表示なし	磁気製品より 5 cm 以上遠ざける必要があります。 (JIS1 種)
□	磁気製品より 1 cm 以上遠ざける必要があります。 (JIS2 種)

磁気を帯びたことが原因で、携帯使用時の精度めやす範囲を超えていた場合、磁気の除去および精度の再調整作業は、保証期間にかかる有料とさせていただきます。

この時計が磁気の影響を受ける理由

内蔵されているひげぜんまいが、外からの強い磁気の影響を受けます。

JA 27

時計に影響を及ぼす身の周りの磁気製品例



スマートフォン・携帯電話・タブレット端末
(スピーカー部、カバーのマグネット部)



AC アダプター
バッグ
(磁石の止め金)



交流電気
シェーバー



電磁調理器



携帯ラジオ
(スピーカー部)



磁気ネックレス



磁気健康枕

バンドについて

バンドは直接肌に触れ、汗やほこりで汚れます。そのため、お手入れが悪いとバンドが早く傷んだり、肌のかぶれ・そで口の汚れなどの原因になります。
長くお使いになるためには、こまめなお手入れが必要です。

● 金属バンド

- ・ステンレスバンドも水や汗・汚れをそのままにしておくと、さびやすくなります。
- ・手入れが悪いと、かぶれやワイシャツのそで口が黄色や金色に汚れる原因になります。
- ・水や汗・汚れは、早めに柔らかな布でふき取ってください。
- ・バンドのすき間の汚れは、水で洗い、柔らかな歯ブラシなどで取り除いてください。
(時計本体は水にぬれないように、台所用ラップなどで保護してください。)
残った水分は柔らかな布でふき取ってください。
- ・チタンバンドでも、ピン類には強度に優れたステンレスが使用されているものがあり、ステンレスからさびが発生することがあります。
- ・さびが進行すると、ピンの飛び出しや抜けが発生し、時計を脱落させてしまうことがあります。また、逆に中留が外れなくなることがあります。
- ・万が一、ピンが飛び出している場合は、けがをするおそれがありますので、ただちに使用をやめて修理をご依頼ください。

● 皮革バンド

- ・水や汗、直射日光に弱く、色落ちや劣化の原因になります。
- ・水がかかったときや汗をかいだ後は、すぐに乾いた布などで、吸い取るように軽くふいてください。
- ・直接日光にあたる場所には放置しないでください。
- ・色の薄いバンドは、汚れが目立ちやすいので、ご使用の際はご注意ください。
- ・時計本体が日常生活用強化防水 10(20)気圧防水になっているものでも、アクアフリーバンド以外の皮革バンドは、水泳・水仕事などでのご使用はお控えください。

● 布製バンド(ナイロン・ポリエステル)

- ・糸を編み込んでいる構造上、皮脂や汚れなどが付着しやすい性質があります。
- ・本製品への引っかかりによる製品のほつれ、破損などにご注意ください。
- ・汗や雨で製品が湿った際、摩擦により色落ちし、他の衣料に色が移ることがありますのでご注意ください。
- ・衣類の素材との摩擦により、静電気が起こることがありますのでご注意ください。
- ・皮脂や汚れなどが付着した場合には、すぐに乾いた布などで軽く拭き取ってください。
- ・乾燥させる際は、風通しの良い場所で陰干ししてください。
- ・長時間の水洗いにより、風合いが変わることがあります。
- ・直射日光に当たる場所に放置すると、変色する可能性がありますのでご注意ください。

● シリコンバンド

- ・材料の特性上、バンドに汚れがつきやすく、しみこんだりして、変色を生じることがあります。
汚れた場合は、ぬれた布やウェットクリーニングティッシュ等ですぐにふきとってください。
- ・他の材料に比べ、亀裂が生じた場合そこから切れてしまう恐れがあります。先の鋭い刃物などで傷つけない様、ご注意ください。

かぶれやアレルギーについて	バンドによるかぶれは、金属や皮革が原因となるアレルギー反応や、汚れ、もしくはバンドとのすれなどの不快感が原因となる場合など、いろいろな発生原因があります。
バンドサイズのめやすについて	バンドは多少余裕をもたせ、通気性をよくしてご使用ください。 時計をつけた状態で、指一本入る程度が適当です。 

皮革バンド用三つ折れ式中留(なかどめ)の使いかた

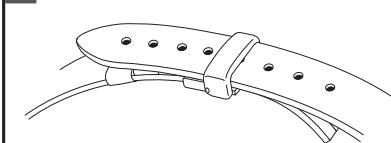
皮革バンドには、調整可能な三つ折れ式中留を用いたものがあります。

お買い上げの時計の中留が、下記のいずれかにあてはまる場合は、それぞれの操作方法を参照してください。

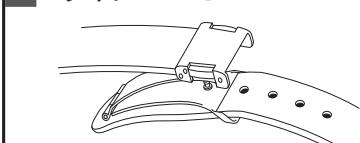
4

ご注意いただきたいこと

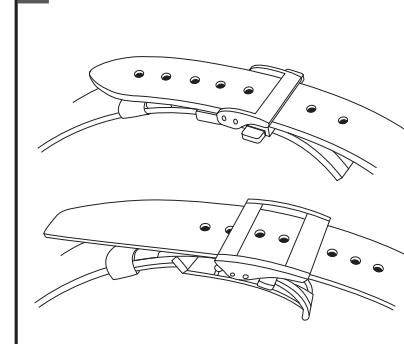
A Aタイプ → P. 33



B Bタイプ → P. 34



C Cタイプ → P. 35

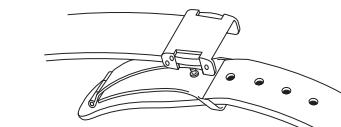


JA 32

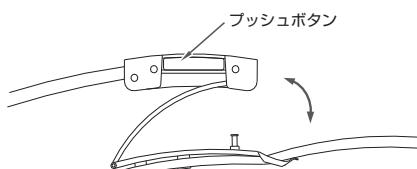
B Bタイプの使いかた

4

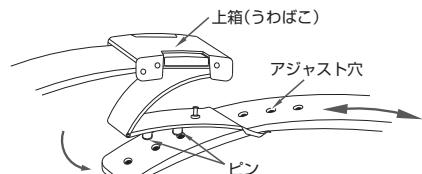
ご注意いただきたいこと



① プッシュボタンを両側から押しながら中留を開きます。



② ピンをアジャスト穴から外します。バンドを左右にスライドさせ、適切な長さのところで、ピンをアジャスト穴に入れます。上箱を押して、中留を留めます。

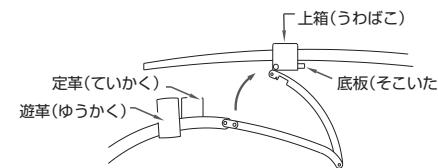


JA 34

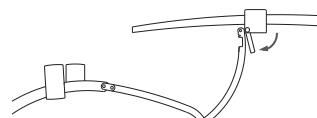
A Aタイプの使いかた

①

バンドを定革・遊革から抜いて、中留を開きます。

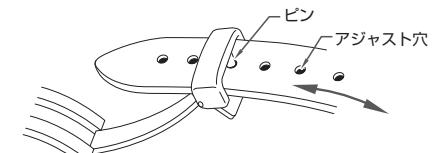


② 上箱の底板を下に開きます。



③

ピンをアジャスト穴から外します。バンドを左右にスライドさせ、適切な長さのところで、ピンをアジャスト穴にもう一度入れます。



④

底板を閉めます。



※中留を装着するときはバンド剣先(先端)を定・遊革に入れてから、中留をしっかり留めてください。

JA 33

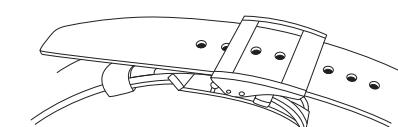
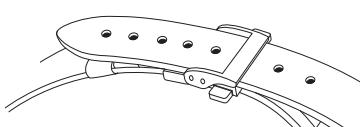
4

ご注意いただきたいこと

C Cタイプの使いかた

4

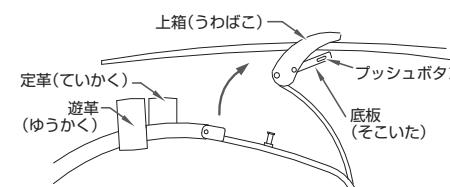
ご注意いただきたいこと



● 着脱のしかた

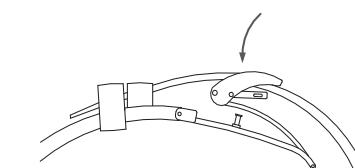
①

プッシュボタンを両側から押しながらバンドを定革・遊革から抜いて、中留を開きます。



②

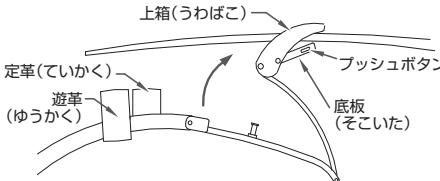
バンドの剣先(先端)を定革・遊革に入れてから、上箱を上からしっかりと押さえて留めます。



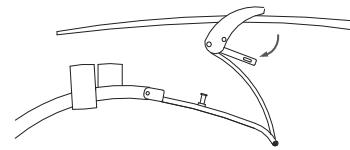
JA 35

● バンドの長さを調節するには

① プッシュボタンを両側から押しながらバンドを定革・遊革から抜いて、中留を開きます。



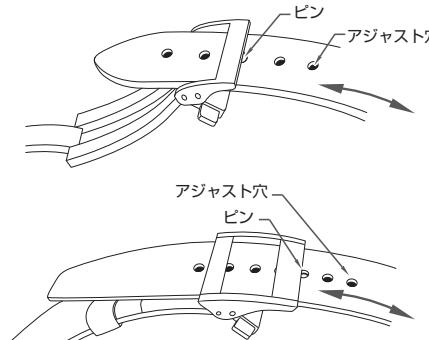
② もう一度プッシュボタンを押し、底板を下に開きます。



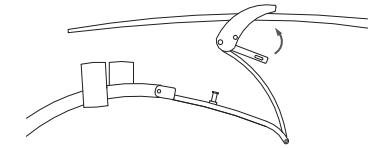
4

ご注意いただきたいこと

③ ピンをアジャスト穴から外します。バンドを左右にスライドさせ、適切な長さのところで、ピンをアジャスト穴に入れます。



④ 底板を閉めます。



4

ご注意いただきたいこと

JA 36

JA 37

スマートアジャスター機構つき中留(なかどめ)の使いかた

バンド長さ(微調整)ができるスマートアジャスター機構つき中留を用いたものがあります。

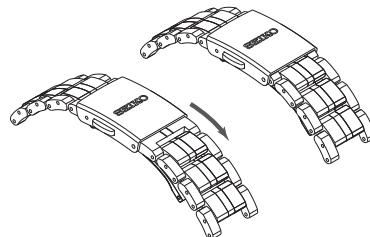
お買い上げの時計の中留が、図のような中留のときは下記の操作方法を参照にしてください。

※最大約 5 mm 長くすることができます。

バンドが密着する等、不快に感じる場合には便利な機構です。

4

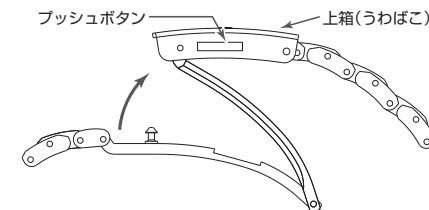
ご注意いただきたいこと



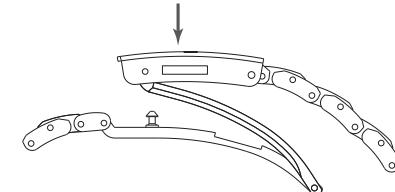
● バンドの着脱(中留の開閉)について

1. プッシュボタンを軽く押して中留を開きます。

※プッシュボタンを強く(深く)押すとスマートアジャスター機構が作動し、バンドが長くなりますのでご注意ください。



2. 上箱を上からしっかりと押さえて留めます。



4

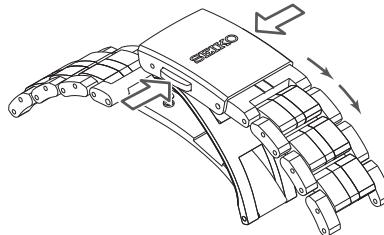
ご注意いただきたいこと

JA 38

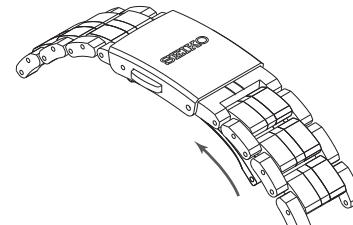
JA 39

● バンドの長さを調節するには

- 1. ブッシュボタンを両方から強く(深く)押すと、スマートアジャスター機構が作動し、バンドが(2段階)最大約5mm長くすることができます。



- 2. 中留の上箱をしっかりと押さえて留めます。
※中留を閉じた状態でも、スマートアジャスター機構で長くなった分を戻すことができます。



※上の図は例であり、お買い上げいただいた時計の仕様とは異なる場合があります。

アフターサービスについて

● 保証と修理について

- 修理や点検調整のための分解掃除(オーバーホール)の際は、お買い上げ店、または弊社お客様相談室にご依頼ください。
- 保証期間内に不具合が生じた場合は、必ず保証書を添えてお買い上げ店へお持ちください。
- 保証内容は保証書に記載したとおりです。
保証書をよくお読みいただき、大切に保管してください。
- 保証期間終了後については、修理によって機能が維持できる場合には、ご要望により有料修理させていただきます。

● 補修用性能部品について

- この時計の補修用性能部品の保有期間は、通常7年を基準としています。補修用性能部品とは、時計の機能を維持するために必要な修理用部品です。
- 修理の際、外観の異なる代替部品を使用させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

● 点検調整のための分解掃除(オーバーホール)について

- 長くご愛用いただくために、2年～3年に1度程度の点検調整のための分解掃除(オーバーホール)をおすすめします。
- この時計のムーブメントは、機構の性質上動力を伝達する歯車部分に常に力が加わっています。これらが常に機能するためには、定期的な部品の洗浄、油の交換、精度調整、機能チェック、消耗品の交換などが大切です。特にお買い上げ後2年～3年目の点検調整のための分解掃除(オーバーホール)を行うことが、長く使用するためには重要です。ご使用状況によっては、機械の保油状態が損なわれたり、油の汚れなどによって部品が磨耗し、時刻の進み、遅れが大きくなったり止まりにいたることがあります。
- またパッキンなどの部品の劣化が進み、汗や水分の浸入などで防水性能が損なわれる場合があります。点検調整のための分解掃除(オーバーホール)は、「純正部品」とご指定の上、お買い上げ店にご依頼ください。その際、パッキンやばね棒の交換もあわせてご依頼ください。
- 点検調整のための分解掃除(オーバーホール)の際には、ムーブメント交換となる場合もあります。

メカニカルウォッチの精度について

- メカニカルウォッチの精度は「日差」です。
- メカニカルウォッチの精度は時計の姿勢(向き)によって、進み／遅れ具合が変わり、またお客様のご使用になる条件(携帯時間・温度・腕の動き・ぜんまいの巻き上げ量など)により、所定の精度の範囲を超える場合があります。
- 1日のみの誤差で判断せず1週間程度の誤差で判断するようにしてください。

○ 精度の温度差

メカニカルウォッチの精度を作る部分には金属が使われています。金属の特性として、温度の変化によって伸び縮みすることは良く知られています。これが時計の精度に影響を与えます。メカニカルウォッチは高温下では遅れがちになり低温下では進みがちになります。

○ ぜんまいの巻き具合と精度

精度を高めるためには、歯車の速度をコントロールするたんぶに規則正しくエネルギーを補給する事が重要です。メカニカルウォッチの動力源であるぜんまいは、いっぱいに巻かれている状態とほどける直前の状態では力が異なり、ほどけるにしたがって力が弱くなっています。自動巻式は頻繁に携帯していただく事で、また手巻式はぜんまいを毎日一回一定の時刻に十分に巻き上げて規則正しく動かす事で、比較的安定した精度が得られます。

4

ご注意いただきたいこと

○ 磁気の影響

外部から強い磁気の影響を受けますと、精度がズレることがあります。影響の度合いによっては、部品が磁化してしまうことがあります。その場合は、磁気抜き等の修理が必要となりますので、お買い上げ店にご依頼ください。

こんなときには

現象	考えられる原因	このようにしてください
時計が止まった	ぜんまいが巻かれていません。	「ぜんまいの巻きかた」→(P. 11)に従ってぜんまいを巻き上げ、時刻を合わせ直してご使用ください。それでも、動かない場合は、お買い上げ店にご相談ください。
時計が進む／遅れる	暑いところまたは寒いところに長く置いた。 磁気を発生するもののそばに置いた。	精度は、常温に戻れば元に戻ります。この時計は気温5°C~35°Cで腕につけたときに安定した時間精度が得られるよう調整してあります。 精度は、元にもどりません。元の精度に戻すためには、脱磁(修理)をする必要があります。お買い上げ店にご相談ください。
	落としたり強くぶつけたり、または激しいスポーツをした。 強い振動が加えられた。 3年を越える長期間、分解掃除による点検調整を行っていない。	時刻を合わせ直しても精度が元に戻らない場合には、お買い上げ店にご相談ください。
		お買い上げ店にご相談ください。

JA 44

4

ご注意いただきたいこと

現象	考えられる原因	このようにしてください
日付が日中に変わる	時刻合わせが12時間ずれている。	12時間分、針を進めてください。
ガラスのくもりが消えない	パッキンの劣化などにより時計内部に水が入った。	お買い上げ店にご相談ください。

※他の現象は、お買い上げ店にご相談ください。

4

ご注意いただきたいこと

製品仕様

機種	8R46	8R48
1.基本機能	5針(時間表示(時針、分針、小秒針)・ストップウォッチ機能 (センターストップウォッチ針(秒)、30分計針)、日付表示)	6針(時間表示(時針、分針、小秒針)・ストップウォッチ機能 (センターストップウォッチ針(秒)、30分計針、12時間計針)、日付表示)
2.振動数	28,800振動/時間(8振動/秒)	
3.精度	日差 +25秒~-15秒 ただし、気温5°C~35°Cにおいて腕につけた場合	
4.駆動方式	ぜんまい巻(自動巻(手巻つき))	
5.持続時間	最大巻上時 約45時間	
6.使用石数	34石	

※上記精度は工場出荷時に調整されたものです。

※メカニカルウォッチの特性上、ご使用になる条件(携帯時間、温度、腕の動き、ぜんまいの巻き上げ量など)によっては上記精度の範囲を超える場合があります。

※仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

JA 46

4

ご注意いただきたいこと

JA 47

お客様相談室
通話料無料 0120-612-911

セイコーワオッチ株式会社

<https://www.seikowatches.com/>